

平成29年度
(第4四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では150億300万円(前年同期比117.2%)と、創業以来過去最高の売上高となりました。これは医薬品製造受託事業における国内最大規模の顆粒剤製造移管事業が呉羽工場にて予定通りに進み、販売量が増加したためとなります。

なお、今年度を以って当移管事業は完了し、関連製剤の製造量は2018年度に最大化する予定です。

収益面では経常利益ベースで2億7,700万円となり、前年同期比10億4,900万円増となりました。これは上述した呉羽顆粒剤工場の本格稼働の結果、生産効率が高まり収益性が向上した事が主要因となります。

(事業運営面)

大型投資した呉羽顆粒剤工場の安定的かつスケジュール通りの稼働に注力いたしました。来年度以降も引き続き、既存受託品目の高品質で安定的な供給、新規取引先開拓および新規受託品目獲得に注力してまいります。

○ 課題への取組み

・更なる工場稼働率および収益性向上のため、積極的に医薬品製造受託事業の拡大を図っております。

○ トピックス、適時情報

・大型投資案件である呉羽顆粒剤工場の製造移管事業が完了いたしました。

・配置事業を基盤とした医薬品の製造販売事業を行うため、内外薬品株式会社、大協薬品工業株式会社と共に、「富山めぐみ製薬株式会社」を設立致しました。

○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第2四半期、平成29年4月～平成30年3月)

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	11,976,668	11,892,517	12,797,690	15,003,450
経常利益	-346,387	-970,206	-771,300	277,483

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

連結売上高は174億7,200万円(前年同期比112.3%)と、創業以来過去最高の売上高となりました。これは医薬品製造受託事業が好調であったこと(単体における事業の概況に記載)、OTC事業が堅調に推移したことが主要因となります。

収益面では経常利益4億100万円となり、前年同期比10億300万円増となりました。

来年度以降もさらなる売上および収益増加のため、工場稼働率の向上、販間費のコストコントロールに取り組んでまいります。

○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第4四半期、平成29年4月～平成30年3月)

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	14,893,416	14,987,496	15,561,674	17,472,230
経常利益	-362,065	-982,832	-601,961	400,846

平成29年度
(第4四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

薬都広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上高は26億1,100万円、前年比92.9%となりましたが、経常利益は8,500万となり、減収増益となりました。

(事業運営面)

かねてよりご案内しておりましたとおり、株式会社廣貫堂、大協薬品工業株式会社および内外薬品株式会社は、「富山のくすり」ブランドを育成することを目的として、新会社を共同で設立することとなりました。平成30年4月1日から、「富山めぐみ製薬株式会社」として業務を開始いたします。21世紀の時代に対応した、新しいビジネスモデルを構築するために、チャレンジングな事業運営を行って参ります。

○ トピックス、適時情報

平成18年の設立以来、皆さまのご厚情をいただき今日まで営業を続けて参りましたが、「富山めぐみ製薬株式会社」の設立にともない、薬都広貫堂株式会社としての業務は終了することとなりました。長年にわたるご愛顧に心から感謝申し上げます。

また、これまでお取引いただきおりました皆様にはご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、新会社設立の趣旨をご理解いただき、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

○ 業績の概況 (第4四半期、平成29年4月～平成30年3月) (千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	2,962,082	2,859,199	2,810,344	2,611,746
経常利益	-24,893	21,865	-51,299	85,106

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は前年同期比100.2%の54億4,800万円となりました。

経常利益は前年同期比61.3%の2,200万円となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。

年間を通じて順次製品を上市しております。

○ トピックス、適時情報

新発売(4～3月)

医薬品 : 100mLドリンク 3アイテム、止瀉薬(12錠) 2アイテム、胃腸薬 1アイテム

医薬部外品 : 100mLドリンク 1アイテム、薬用ハミガキ 1アイテム

清涼飲料水 : 50mLドリンク 1アイテム

食品 : シールド乳酸菌飲料 65mL 1アイテム

機能性表示食品 : 食事の刻の国産緑茶 500mLペット飲料 1アイテム

雑貨 : アースプラス 除菌・消臭エアコンフィルター 2アイテム

○ 業績の概況 (第4四半期、平成29年4月～平成30年3月) (千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	4,885,416	5,464,078	5,435,830	5,448,359
経常利益	16,798	39,250	35,644	21,860

平成29年度
(第4四半期)
グループ各社

広貫堂グループ IR情報

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第13期は最終売上が想定まで伸びず、前期に比べ1,700万円の減益となりました。第3四半期の1,900万円の減益からは200万円ほど改善しましたが、顧客数の減、営業員の確保不足が主たる要因のため、この二点に14期は注力して参ります。

(事業運営面)

第3四半期に引き続き粗利を重視する政策を打ち出し、実行しています。100ml栄養ドリンクを積極的に顧客先に配下し、商品原価を下げ粗利を確保できるように、賞与の連動を行っています。

○ トピックス、適時情報

希釈飲料「野草原酵素 白ブドウ味」をリニューアルしました。CSRの一環として「絆プロジェクト」(100mlドリンク販売の売上の一部を東北三県震災遺児へ寄付するとりくみ)の内容をお客様へお知らせしました。(4月に寄附済)

○ 業績の概況 (第4四半期、平成29年4月～平成30年3月) (千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	1,721,702	1,611,346	1,511,888	1,413,697
経常利益	-183,063	-130,037	-24,862	-46,399

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)販売面においては、前年同期比97.0% 予算計画比93.2%となりました。経費面につきましては、前年同期比87.9% 予算計画比90.7%で推移致しました。経常利益では、100万に対して355万となりました。

(事業運営面)1月、2月痛み系の商品「グルコサミンゼリー」の販売を強化し、2月からサンリキソz5000の配下を行いました。

○ トピックス、適時情報

- 平成30年1月19日にトキワ廣貫堂第5回取締役会が開催されました。
- 平成30年3月23日にトキワ廣貫堂第6回取締役会が開催されました。

○ 業績の概況 (第4四半期、平成29年4月～平成30年3月) (千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	211,764	217,622	206,584	200,307
経常利益	-28,991	-4,643	-14,753	3,554